



上勝小学校

2026
No. 1

人権教育だより

なかよし



上勝小学校は、「心豊かに たくましく 生きぬく力を育む」という学校教育目標達成をめざし、毎日の学校生活の中で「一人一人を大切にした教育」を進めています。人権教育においても、本校が掲げるめざす子ども像の育成をめざし、学校全体で取り組んでいます。1学期に行ってきた子どもたちの活動を紹介します。

人権とは…

人権とは「**すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利**」です。

- ・健康で安全な生活がしたい。
- ・自由に個性や能力を発揮したい。
- ・目標や夢に向かって進みたい。

きっと誰もが願っていることです。

また、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」が人権尊重です。

人権を尊重し守るためには、自分がまわりの人の生活を見つめ、心豊かな人間関係づくりを進めていくことが大切です。



みんな笑顔！ 1年生を迎える会

4月に、「1年生を迎える会」を行いました。

会では、1年生を紹介する〇×クイズを行いました。クイズの答えを、1年生自身がみんなの前で発表する場面もあり、一人一人が主役となる温かい時間となりました。全校のみんなも、1年生のことを知ろうと楽しみながら参加していました。

また、全校児童で「だるまさんの一日」を楽しみました。1年生がみんなに動きを伝え、6年生がそばで優しくサポートする姿が見られました。上級生が下級生を支えながら活動することで、学年を越えてたくさんの笑顔があふれました。

6年生が下級生のことを思いながら企画・運営を行い、1年生も安心して活動することができました。一人一人が互いを認め合い、支え合うことの大切さを感じられる、心温まる集会となりました。



地域とつながる学習

生活科や総合的な学習の時間では、地域へ出かけ、地域の方々との交流やインタビューを行いました。活動を通して、地域にはさまざまな立場や考えをもつ人が暮らしていることを知り、一人一人を尊重することの大切さについて学ぶことができました。

また、6年生は修学旅行で京都・大阪を訪れ、歴史や文化に触れるとともに、多くの人が利用する公共の場でのマナーや周りの人への気配りを意識して行動しました。仲間と協力しながら活動する中で、互いを思いやり、支え合うことの大切さを実感しました。

地域や社会とのつながりを学ぶ経験は、人との関わりを大切にし、互いを認め合いながらよりよい社会を築こうとする心を育むことにつながっています。



【森の名付け会】



【茶摘み】



【町探検】



【ゼロ・ウェイストセンター見学】



【いもの苗植え】



【修学旅行】

「きみのこと おしえてシート」から見えてきた子どもたちの姿

本校では、学校生活について児童の思いや考えを知るために、「きみのこと おしえてシート」というアンケートを実施しています。質問項目の中には、学習や学校生活に関する内容だけでなく、人権に深く関わる内容もあります。今回は、その中でも人権に関わりの深い項目について紹介します。

アンケートでは、「命は大切だと思う」「人それぞれの違いを認めることができる」「人のいやがることをしてはいけないと思う」など、多くの児童が肯定的に回答しました。また、「自分を大切にしている」「友達の気持ちを考えて生活している」「困っている人に声をかけている」といった項目についても、多くの児童が前向きに捉えていることが分かりました。

一方で、少数ではありますが、肯定的ではない回答も見られました。この結果を大切に受け止め、一人一人の思いや悩みに寄り添いながら、自分も友達も大切にできる学校づくりを、これからも進めていきます。

アンケート結果(肯定的回答「思う」「やや思う」)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| ・命は大切だと思う … 100% | ・人それぞれの違いを認めることができる … 95.2% |
| ・困っている人に声をかけている … 92.9% | ・相手を大切に生活をしている … 92.9% |
| ・自分を大切にしている … 90.5% | ・人のいやがることをしてはいけないと思う … 95.2% |